

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

「うきはブランド通信」

U B C ~ukiha brand communication~

(報道各社への取材の御案内)



令和2年11月9日
福岡県うきは市



91の鳥居を潜り、298の石段を登れば、一望千里！

深まる秋、色づきはじめた柿畑と浮羽稲荷神社

SNS 映え抜群のスポット、最高潮へ！

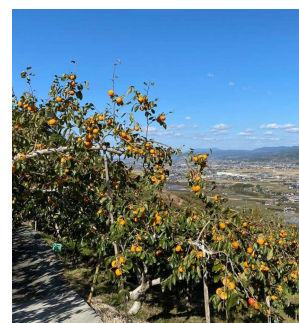
甘柿の産地うきは市、耳納連山山麓に広がる柿畑では11月から主力の富有柿(ふゆうがき)の収穫もはじまった。



そのなか、フォトジェニックな写真が撮れるスポットとして注目の浮羽稲荷神社周辺では、鳥居の朱色に迫るように柿畑の木の葉も一面色づきはじめた。



収穫された柿は市内の「道の駅うきは」などに出荷され、フルーツコーナーも柿色に染めている。



写真左=浮羽稲荷神社、標高約120mの社殿から筑後平野を見渡せる。
写真上=耳納連山北麓の収穫期を迎えた柿畑(11月9日撮影)

送信:うきは市総務課広報係 TEL0943-75-4980※市ホームページにカラー版を掲載 検索 うきはブランド通信

2020.11.9 発表/色づきはじめた柿畑と浮羽稲荷神社、SNS映え抜群のスポット最高潮へ！